

音楽と私

アゼリア合奏団 in シニア 森田忠芳



合奏団ではピアノを担当しています。ピアノとの出会いは中学3年、音楽室から流れてくるベートーベンの「月光」を聴いてからでした。英語科の先生が演奏されていました。心を打たれ私はバイエルを買って紙鍵盤で練習を始めました。将来はオーケストラのフルート奏者になりたい夢を持っていた私に、親が無理してアップライトピアノを購入してくれました。

高校の普通科に進学した私は、吹奏楽部の他にビッグバンド同好会に入りました。コード構成音の両手での押さえ方やバックのタイミングも分からずにいました。このビッグバンドはOBを中心に現在も幸区を中心に演奏活動をしており、私も時々参加させていただいています。

教員になり吹奏楽の指導をしたいと夢が変わり、音楽大学の音楽教育科に入りましたが、大学時代の後半は、キャバレイやクラブでピアノ演奏のアルバイトを始めました。レコードコピーや教則本を使ってジャズピアノの独学を始め、これは今も続いています。

卒業後は川崎市の教員に採用され、音楽を通しての児童や生徒との多くの関わりがありましたが、管楽器講習会にクラリネットに参加した時に、教職員バンドを作ろうということになりました。徐々にビッグバンド編成になり川崎市教職員のイベント等で演奏をするなどの活動を続け、6年前に創立30周年記念のコンサートを開催して区切りがつけられました。

また、高校時代の先輩から川崎の社会人ビッグバンドに誘われ入団。結婚を機に退団しましたが、OBバンドを結成する誘いがあり入団しました。このバンドは今年32年目を迎えましたが、昨年は長く交流が続いている函館のビッグバンドとの演奏会を当地で開催しました。

別にトロンボーン4本とリズムセクションからなるバンドの設立にも参加。このバンドでは浅草ジャズコンテストや日本トロンボーン協会のトロンボーンフェスティバル、洗足音楽大学のジャズ専攻科のコンサートなど良い思い出となっています。

現在の「アゼリア合奏団inシニア」との出会いは、65歳で退職後バンドの先輩から4年ほど前に入団のお誘いがあり決めました。ジャズとは違う響きや曲の乗りを楽しんでいます。講師の鍋木先生のクラリネットを中心に「ジャジアゼリア」というジャズバンドもできました。

私の楽しみのもう一つは、毎日のピアノ練習です。①12の調での短調を含めてアルペジオやスケールなどの練習 ②ジャズやラテンの曲のメロディやコードを覚えアドリブの練習 ③今までの曲の復習と三つに分け、それぞれ50分ほどかけて練習をします。少しずつですが進歩が感じられることが励みです。また、就寝前の湯船で、今晚は何を聴いて寝ようかと考えることも楽しみの一つです。今、モーツァルトのピアノ協奏曲にはまり、変幻自在の音楽を楽しんでいるうちに夢の中に入っています。